



おいしさのみなもと

FEED ONE

2022年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2022年2月9日

フィード・ワン株式会社

東証1部 証券コード:2060



2022年3月期 第3四半期実績



FEED ONE

2022年3月期 第3四半期 決算概要

主に畜産飼料の販売価格上昇により増収、販管費増加も粗利益増加や補助金収入により純利益は増益

(百万円, %)

	2021.3期 3Q	2022.3期 3Q	前年同期比
売上高	160,039	182,757 [※]	+14.2
売上原価	143,343	164,902	+15.0
販管費	12,221	13,769	+12.7
営業利益	4,474	4,085	▲8.7
経常利益	4,756	4,763	+0.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,229	3,309	+2.5

※ 2022.3期 3Q 「収益認識に関する会計基準」等の適用後

前年同期比

● 売上高

「収益認識に関する会計基準」等の適用による減少も、畜産飼料価格の値上げにより増収。

● 経常利益

配合飼料価格安定制度の積立金増加を畜産飼料の粗利益増加で吸収し微増。

尚、水産物のコロナ対策補助事業[※]費用（前年同期差+278百万円）を営業利益段階で計上し、同事業の補助金収入を同額営業外利益で計上。 ※ 国産農林水産物等販路多様化緊急対策事業等

● 純利益

特別利益として計上した北九州畜産工場の企業立地促進補助金（前年同期差+196百万円）により増益。



FEED ONE

2022年3月期 第3四半期 セグメントの状況

(百万円, %)

		2021.3期 3Q	2022.3期 3Q		
				増減額	前年同期比
飼料事業	売上高	120,553	151,992 ^{※1}	+31,439	+ 26.1
	セグメント利益	5,669	5,762	+92	+ 1.6
食品事業	売上高	37,446	28,893 ^{※1}	▲ 8,553	▲ 22.8
	セグメント利益	233	▲ 79	▲ 312 ^{※2}	-
その他	売上高	2,039	1,871 ^{※1}	▲ 167	▲ 8.2
	セグメント利益	263	236	▲ 26	▲ 10.2

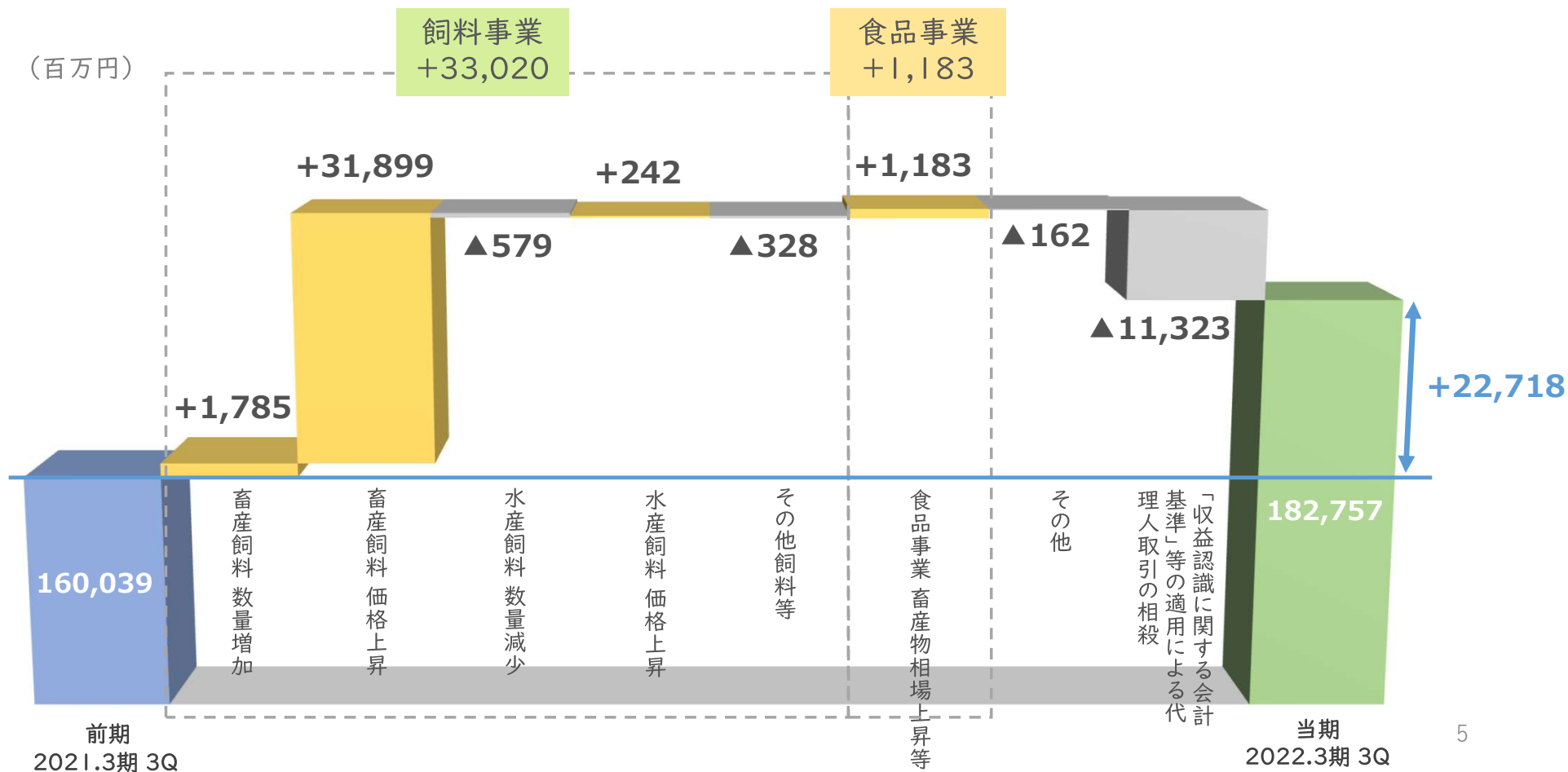
※1 2022.3期 3Q 「収益認識に関する会計基準」等の適用後

※2 営業外収益に計上した水産物のコロナ対策補助事業補助金収入(前年同期差+278百万円)を加味すると▲34百万円の減益(万円、%)

販売数量	2021.3期 3Q	2022.3期 3Q		
			前年同期比	コメント
畜産飼料	262.1	264.4	0.9	採卵鶏用+0%、ブロイラー用+1%、豚用▲2%、牛用+4%
水産飼料	8.0	7.7	▲ 4.1	海水魚用▲6%、淡水魚用+13%

売上高 増減要因

主に畜産飼料の販売価格上昇により増収



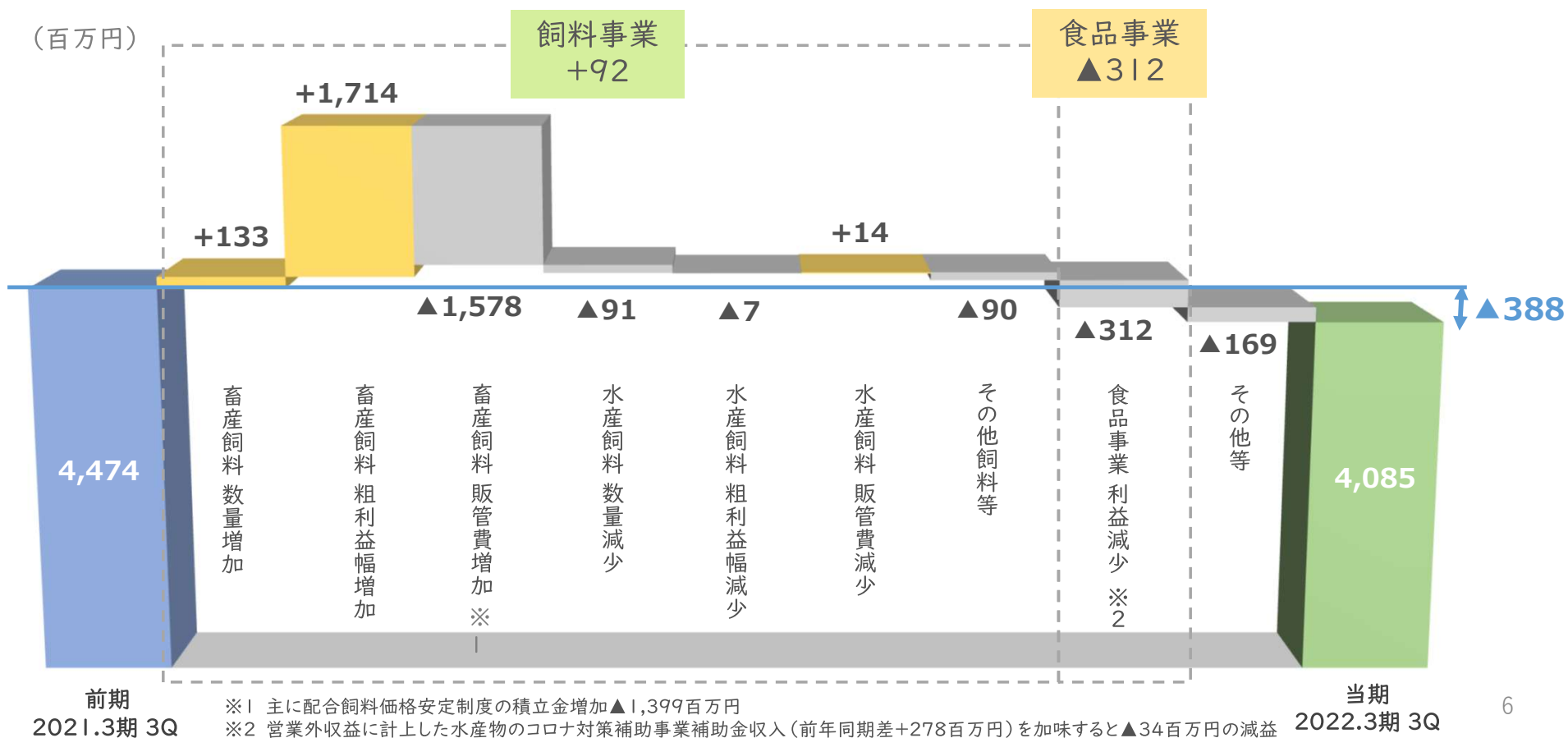


FEED ONE

営業利益 増減要因

飼料事業: 畜産飼料で販管費増加も、粗利益幅の増加等により増益

食品事業: 水産物のコロナ対策補助事業の経費計上等により減益



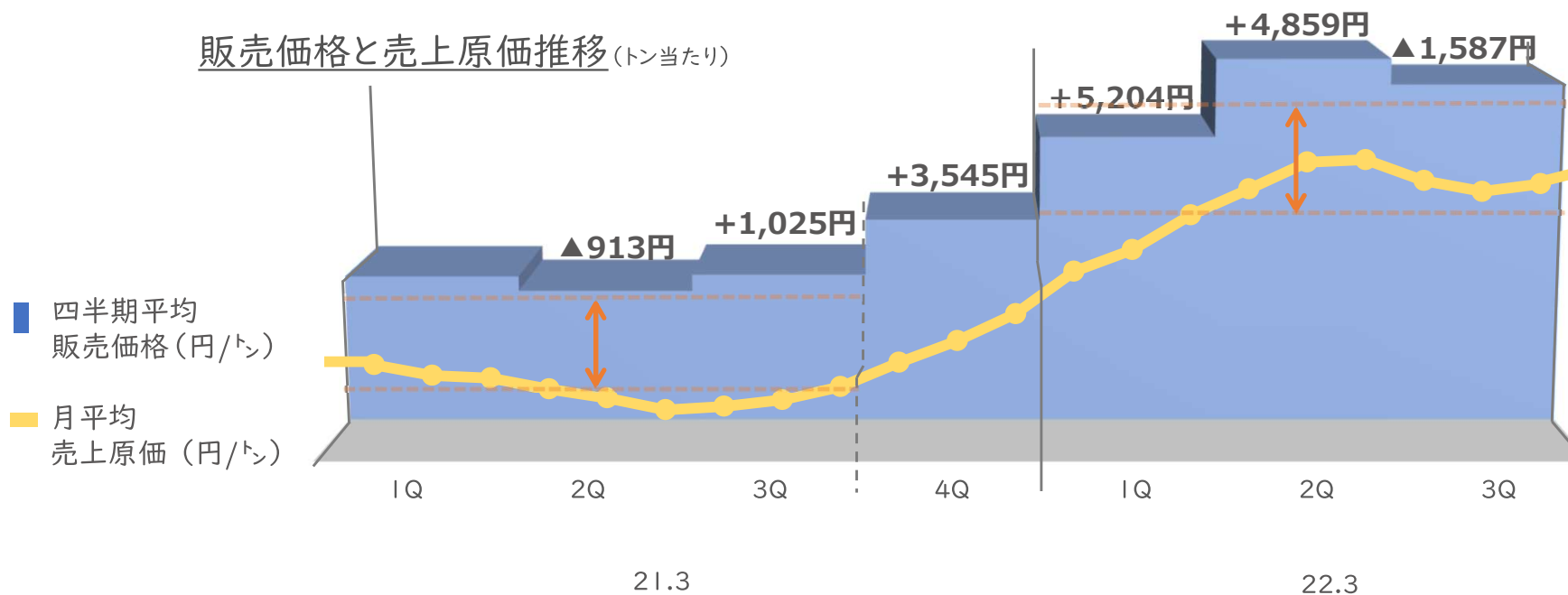
畜産飼料の販売価格と売上原価推移

販売価格および売上原価が大幅に上昇

販売価格の上昇額が売上原価の上昇額を上回り、粗利益幅が増加

- ▶ 販売価格は原材料相場の変動に準じて、四半期毎に改定を行う
- ▶ 製品原価における原材料費率は8割強、原材料の5割を占める輸入とうもろこし相場が前年同期を大きく上回っている

販売価格と売上原価推移 (トン当たり)



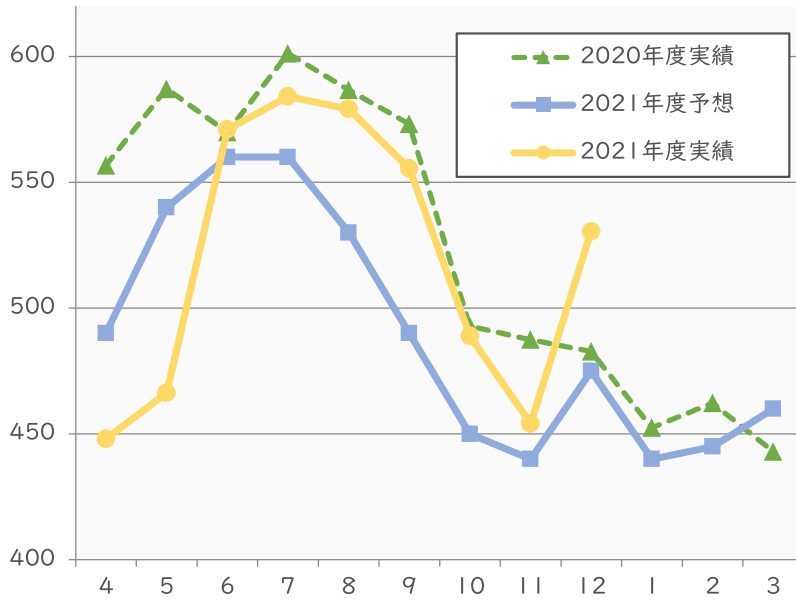


食品事業_畜産物相場の状況

FEED ONE

豚肉相場は前年を下回り収益改善も、鶏卵相場は高値が続き収益悪化。食品事業全体の営業利益は減益

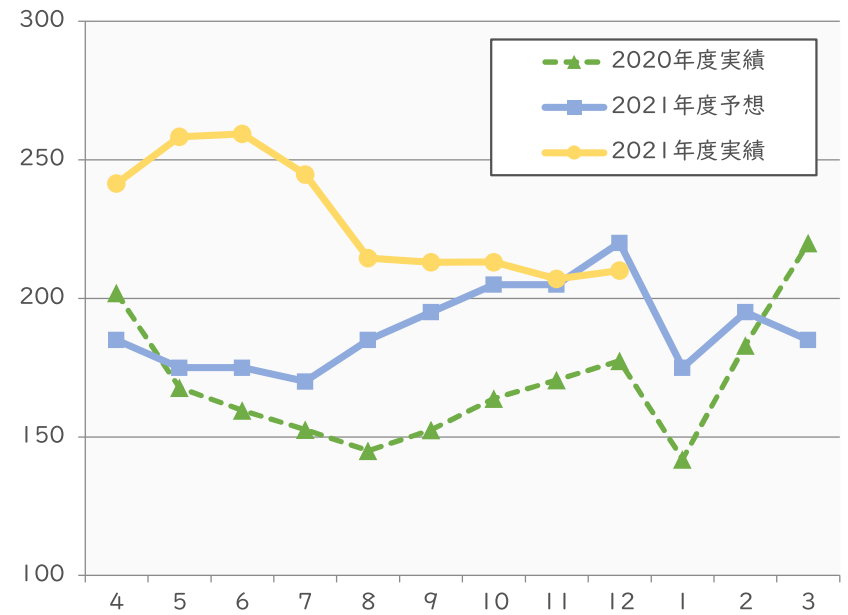
豚枝肉卸売価格(3市場・上物) (円/kg・税抜)



(出所:農林水産省「食肉流通統計」)

▶ 巣ごもり需要がやや落ち着き期初に下落、一部の地域で豚熱が発生し供給量が減少し、予想値を上回る

鶏卵卸売価格(全農:東京M) (円/kg・税抜)



(出所:JA全農たまご(株)調べ)

▶ 昨年の鳥インフルエンザにより供給面でタイトな状況が続き、上半期に高値をつける異例のトレンドとなる 8

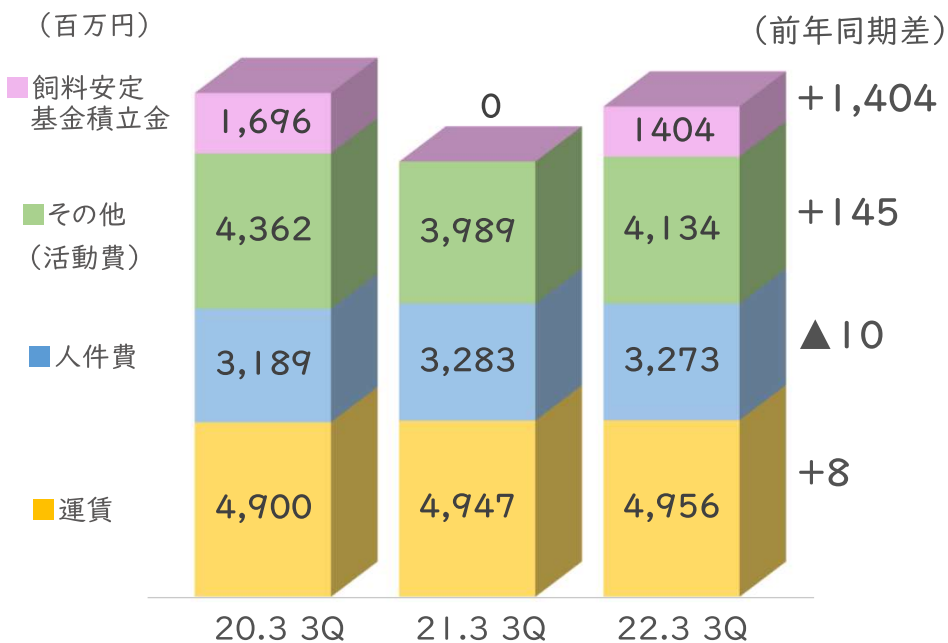


販管費詳細

FEED ONE

販管費

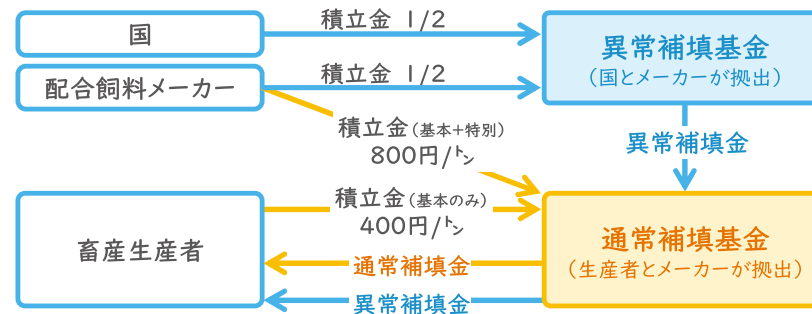
- ▶ 配合飼料価格安定制度の積立金計上により増加
- ▶ その他_研究費・次期基幹システム構築費用により増加



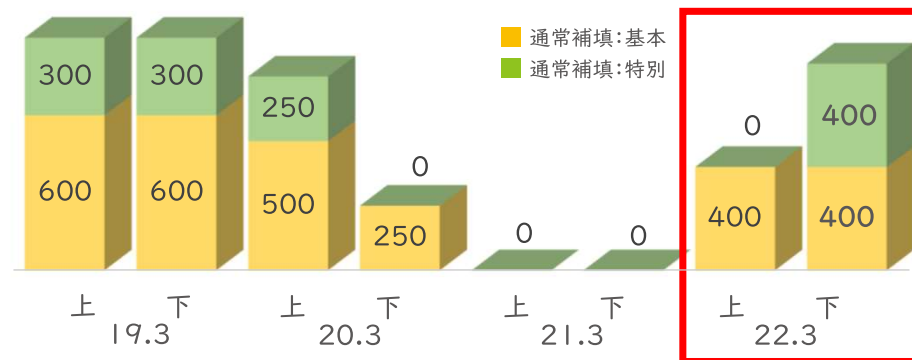
参考資料: 配合飼料価格安定制度の現状

- ▶ 飼料価格の上昇が畜産経営に及ぼす影響を緩和する目的
- ▶ 基金の発動が少なかったため財源が積みあがり、昨年度は積立金が免除されていたが、今年度は補填金発動により再開

制度の仕組み(例: 2022年3月期 3Q)



積立金推移(配合飼料メーカー)





2022年3月期 業績予想

2022年3月期 業績予想

2021年5月11日に公表した2022年3月期の通期連結業績予想(期初予想)を**本日付で修正**

(百万円, %)

	2022.3期 期初予想		2022.3期 今回修正予想		増減		ご参考 前期実績(2021.3期)	
		構成比		構成比	増減額	増減率		構成比
売上高	215,600	100.0	243,000	100.0	+27,400	+12.7	214,120	100.0
売上原価	192,400	89.2	220,100	90.6	+27,700	+14.4	192,163	89.7
販管費	18,200 ※	8.4	18,500	7.6	+300	+1.6	16,284	7.6
営業利益	5,000	2.3	4,400	1.8	▲ 600	▲12.0	5,672	2.6
経常利益	5,400	2.5	5,000	2.1	▲ 400	▲7.4	6,081	2.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,700	1.7	3,500	1.4	▲ 200	▲5.4	4,438	2.1

※ 期初予想の配合飼料価格安定制度の積立金は400円/トと想定していたが、下期より800円/トの積立となる

通期連結業績予想の修正の背景

- 売上高
畜産飼料の平均販売価格が上昇したこと等により増加を予想
- 利益
エタノール需要の増加や旺盛な穀物需要の影響を受け、主原料のとうもろこし価格が高値推移し粗利益が悪化するほか、配合飼料価格の上昇から配合飼料価格安定制度の積立金が期初予想より7億円ほど増加したこと等により減少を予想



本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではありません。
また、様々な要因の変化により実際の業績や結果とは異なる可能性があることをご承知おき下さい。

当資料に関するご質問・お問い合わせにつきましては、弊社のIR代表アドレス宛
(ir@feed-one.co.jp)にご連絡ください。